

都市再生整備計画(第3回変更)

ぐんまちゅうおうちく
群馬中央地区

ぐんま たかさきし
群馬県 高崎市

令和3年11月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォーカブル推進事業	□

目標及び計画期間

都道府県名	群馬県	市町村名	高崎市	地区名	群馬中央地区	面積	112.2 ha
計画期間	平成 30 年度	～	令和 4 年度	交付期間	平成 30 年度	～	令和 4 年度

目標

- 目標1：安全が目で見えて、それを実感できるまちづくりを目指す。
- 目標2：洪水や浸水のないまちづくりを目指す。
- 目標3：住みたい、住み続けたいと思うまちづくりを目指す。

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の考え方を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

- ・本市は平成18年度及び平成21年度の市町村合併により市域が110.72km²から459.16km²へと拡大しました。総人口の約67%が合併前の旧高崎市地域に居住しており、郊外部において進む人口減少・高齢化は今後より顕著に進行し、その後中心市街地においても同様のことが進むと予想されます。本市の都市づくりの理念である高崎市第6次総合計画では「いつまでも、ずっと暮らしたい高崎」を、高崎市都市計画マスタープランでは「多核連携都市の形成」の実現を掲げていますが、人口減少の進行に伴い市街地の低密度化が進行し、都市のスポンジ化が進むにつれ、一定の人口集積によって支えられる生活利便施設や、拡散した都市インフラの維持が困難となることが懸念されることから、持続可能な都市であるために居住機能及び都市機能の適切な配置、誘導を順次進めています。
- ・第6次高崎市総合計画では、本地区周辺は「歴史・文化ゾーン」の位置づけにあり、本来のメリットである本市中心部や県都前橋市への近接性にくわえ、「西毛広域幹線道路」をはじめとした幹線道路網の整備が進行していることによって、居住環境の一層の向上が図られています。
- ・『高崎市都市計画マスタープラン(平成23年3月策定)』では、本地区周辺は「地域中心拠点」としての位置づけにあり「中密度住宅地として良好な住環境形成」が示されています。

まちづくりの経緯及び現況

- ・本地区は、平成17年度に高崎市と合併した「旧群馬町」において役場を中心とする中心市街地を構成する位置づけにあり、平成9年度に「中央第二土地区画整理地区(約72ha)」が事業認可されております。本地区画整理事業は、整理前土地利用状況の違い等を起因として事業が難航し、市街化調整区域であった地区東側の区域(約29ha)から先行して事業を進めてきました。一方、既成市街地であった西側地域(43ha)では、平成19年度より地域住民主体のワークショップが開催され、地域特性に即した区画整理設計図への見直しが進められてきました。そして平成23年度にその総意としての見直しが完了し、現在では、当該変更設計図に基づく、地域特性を尊重した都市基盤整備が進められており、まちなみの更新と地区外からの堅調な人口流入もみられます。

課題

- ・「中央第二土地区画整理地区」では、ワークショップによる地域意向の反映結果として現況道路を大幅に活かした区画道路網となった結果、災害時の避難ルートとしての円滑性に欠ける点もあり、地域に対しての避難時の留意事項徹底と、主たる避難ルートの明確化とその周知が必要です。
- ・平成28年度までのワークショップのまとめとして、「防災と防犯に関するまちづくりルールの締結」についての高崎市への提言がなされており、これらについての実現と、地域への実践的な展開が求められています。
- ・地区内には「高崎市地域防災計画」に指定された「避難場所」がなく、一番近くの施設が地区外約1.2km北の「群馬中央中学校」であるため、住民避難の懸念材料となっています。このため、有事の際の集合や情報伝達に即応し、身近な避難地となる「いっとき集合場所」を街区公園や地域コミュニティー施設用地等に位置づけ、万が一に備えた設備と機能の適切な整備が必要であります。
- ・近年多発する大雨により、当地区および周辺地区に浸水被害が甚大となる箇所が多数あり、雨水排水問題の解消が地区内住民の強い意向であるため雨水排水処理の施設整備が急務であります。

将来ビジョン（中長期）

- ・『第6次高崎市総合計画』では、「人口増加に対応した都市基盤整備を進め、新たな副都心としての地域づくりを目指す」ことが地域の将来像として示されています。
- ・『高崎市都市計画マスタープラン(平成23年3月度策定)』では、地域幹線道路と公共下水道の整備に対する必要性と、生活幹線道路を主軸とした円滑で快適な公共空間の形成が示されており、「農地と市街地が調和した田園都市の実現」を将来ビジョンとして掲げております。
- ・『高崎市地域防災計画(平成20年度策定)』では、できる限りで災害の軽減を図ることを目標として「避難体制の確立」が示されており、自主避難体制や避難伝達系統の確立を地域の目指す将来像としております。
- ・『高崎市立地適正化計画』では、群馬中央地区周辺は都市機能誘導区域の位置づけにあり、高崎市の発展を牽引する中核的エリアであるとともに、市域を超えた広域交流を実現する拠点として高次都市機能の誘導を図るとしています。
- ・群馬地域の中心的位置づけである本地区では、「災害に強く、長く住み続けたいと思うまちづくり」を中長期の整備方針として計画するものであります。

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市機能配置の考え方							
<ul style="list-style-type: none"> 群馬中央地区は、高崎市と合併した旧群馬町において役場を中核とする中心市街地を構成する位置づけにあり、市域を超えた広域交流を実現する拠点としての役割を担っています。 都市機能誘導区域の設定に際して、群馬支所から大型商業施設周辺までの公共施設や集客施設の立地する範囲としており、都市機能誘導区域内で施行されている中央第二土地区画整理事業により、群馬支所周辺の地域中心拠点として、「中密度住宅地として良好な住環境形成」を整備します。 							
都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
<ul style="list-style-type: none"> 主要地方道高崎渋川線及び高崎渋川線バイパス、西毛広域幹線道路に挟まれた本地区的拠点性と大型商業施設の集客力を生かしつつ、中央第二土地区画整理事業を中心に地域に必要な生活利便機能の誘導を図ります。 							
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等							
目標を定量化する指標							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
①安全安心を実感する歩行環境の充実	(%)	地域住民へのアンケートで、普段の散策や児童の通学等において、歩きやすい、また安心と回答する割合	地区内の歩行メインルートと災害時避難ルートの明確化を図り、安全で安心と感じる歩行環境整備を進める。	38.0%	H29	50.0%	R4
②治水対策、自然災害対策に対する不安度の低減	(%)	地域住民に対するアンケートで現在の住環境に対して「宅地への浸水が心配」と回答する割合	自然災害に強い都市基盤を形成することによって、地域住民の治水対策に対する不安度を低減させる。	37.0%	H29	30.0%	R4
③計画期間内の平均転入戸数(新築)の維持	(戸)	区画整理地区内における、計画期間内の地区外からの平均転入者数(新築戸数)の維持	利便性が高く、住みたい、住み続けたいと思うまちづくりを進め、地区外からの転入者数を維持する。	10戸	H28	10戸	R4

整備方針等

様式（1）-③

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【安全が目で見えて、それを実感できるまちづくりを目指す。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区南部を横断する「中央幹線」は、群馬西部の根幹となる「西毛広域幹線道路」の位置づけにありますが、南北の地域を分断する要素ともなります。この危険性等については、これまでの「まちづくりワークショップ」で問題提起されたことであることから、現在学童の通学路となっている南北現道ルートの位置に「横断歩道」を設置し、歩行者の安全な横断と地域コミュニティーの連絡と維持を図ります。 ・上記ルートの他、区画整理施行前からの地域内現道の主要ルートを「安全安心歩行ルート」として位置づけ、「歩行環境整備事業」を進めます。 ・災害時における、町内会単位の集合を目的とした「いっとき集合場所」を整備し、地域防災の目視できるシンボルとして活用します。 ・「安全安心歩行ルート」沿道を中心として、地域住民の発意による、防災と防犯に関するまちづくりルールを取り入れるため、それらの学習と実践を目的とした「安全安心ルールの会」の開催を支援します。 	<p>関連事業：中央第二地区 土地区画整理事業</p> <p>基幹事業：地域生活基盤施設(地域防災施設：いっとき集合場所整備事業)</p> <p>関連事業：群馬中央地区 安全安心まちづくりルールの会支援事業</p> <p>関連事業：群馬中央地区 歩行環境整備事業</p>
<p>【洪水や浸水のないまちづくりを目指す。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水路の整備により、浸水被害箇所の解消を行い、浸水被害のないまちづくりを目指します。 ・土地区画整理事業によって、系統的で合理的な雨水排水処理系統を整備し、降雨時の冠水防止を目指します。 ・雨水放流先である「一級河川天王川」が未改修のため調整池を整備することにより、河川洪水被害を防止します。 	<p>基幹事業：地域生活基盤施設(地域防災施設：雨水排水路整備事業)</p> <p>関連事業：中央第二地区 土地区画整理事業</p> <p>関連事業：群馬中央第二周辺調整池整備事業</p>
<p>【住みたい、住み続けたいと思うまちづくりを目指す。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央幹線に「横断歩道」を整備することにより、地域が分断されることなく、連帯感が強く住みやすいと感じるまちづくりを進めます。 ・土地区画整理事業により、本地区のポテンシャルを活かした利便性がよく、かつ質の高い住宅地を整備し、地区外からの転入を誘引します。 ・「いっとき集合場所」や「安全安心歩行ルート」等を整備することにより、災害時の備えに対する安心と安全が実感でき、定住意欲が向上するまちづくりを進めます。 	<p>基幹事業：地域生活基盤施設(地域防災施設：いっとき集合場所整備事業)</p> <p>関連事業：中央第二地区 土地区画整理事業</p> <p>関連事業：群馬中央地区 安全安心まちづくりルールの会支援事業</p> <p>関連事業：群馬中央地区 歩行環境整備事業</p>
<p>その他</p> <p>○立地適正化計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『高崎市立地適正化計画』では、群馬中央地区周辺は都市機能誘導区域の位置づけにあり、高崎市の発展を牽引する中核的エリアであります。 ・都市機能誘導区域の設定に際して、群馬支所から大型商業施設周辺までの公共施設や集客施設の立地する範囲としており、都市機能誘導区域内で施行されている中央第二土地区画整理事業により、群馬支所周辺の地域中心拠点として、「中密度住宅地として良好な住環境形成」を整備します。 ・群馬中央地区は、市域を超えた広域交流を実現する拠点として高次都市機能の誘導を図るとともに、「災害に強く、長く住み続けたいと思うまちづくり」を中長期の整備方針として計画するものであります。 <p>○交付期間中の事業管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付期間中の円滑な事業推進のため、関連部署間との連携に努め、事業進度管理や事業効果等について定期的な協議を行います。 ・事業の内容・成果等について、市広報誌およびホームページにより、適切な情報の公開を図ります。 <p>○事後評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数値目標の達成について、地域住民の意識に関する事項については、事業前と同様のアンケートを実施します。 	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項（都市構造再編集中支援事業）

樣式 (1) -④- 1

交付対象事業費	547.6	交付限度額	243.2	国費率	0.444
---------	-------	-------	-------	-----	-------

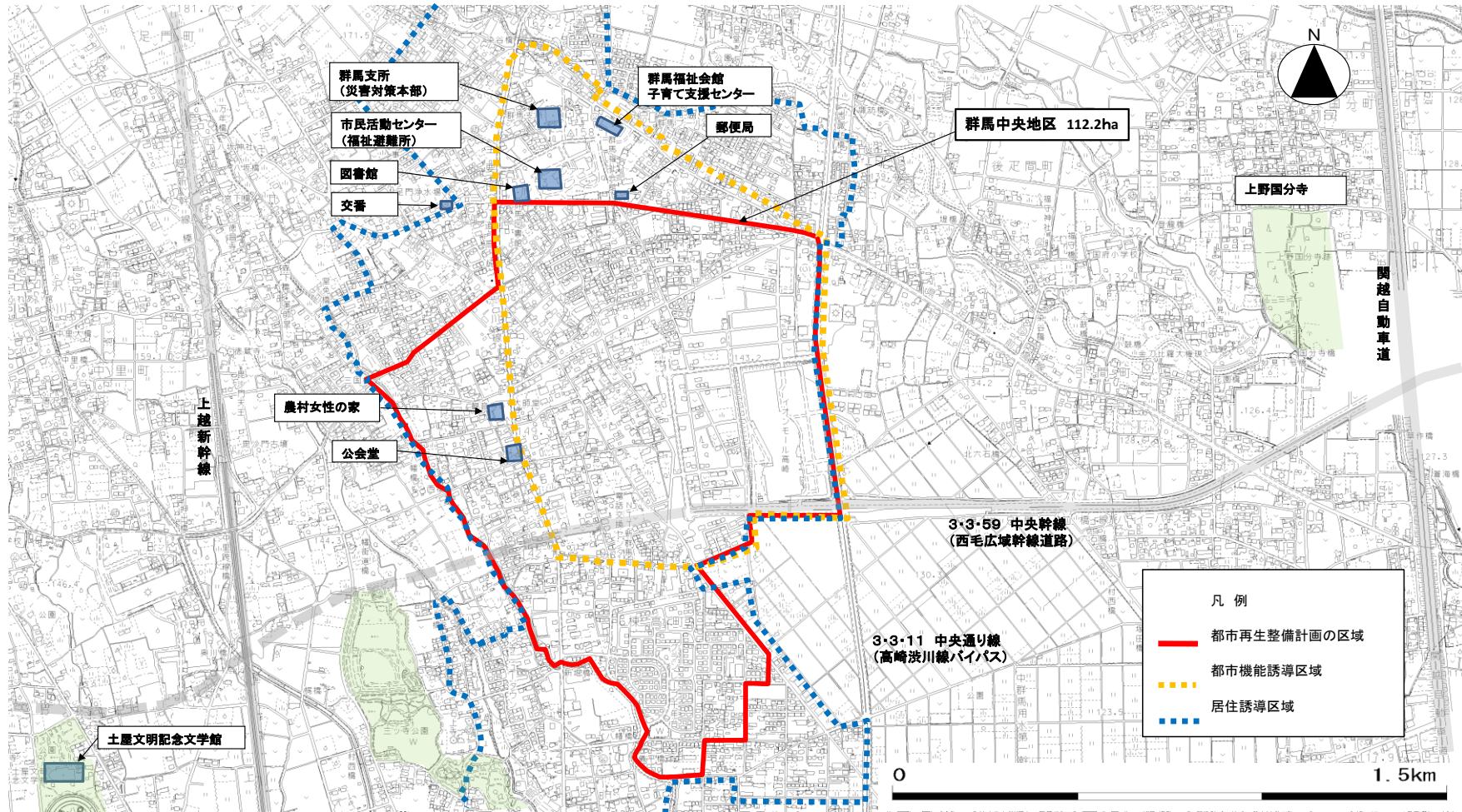
(金額の単位は百万円)

基幹事業													(並欄の半分は右ノット)		
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路															
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設	(地域防災施設) いっとき集合場所整備事業	高崎市	直	2箇所	R3	R4	R4	R4	20	20	20	20		20	
	(地域防災施設) 雨水排水路整備事業	高崎市	直	Φ1200 L=540m	H30	R2	H30	R2	527.6	527.6	527.6	527.6		527.6	
高質空間形成施設															
高次都市施設	地域交流センター														
	観光交流センター														
	まちおこしセンター														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
パリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なか環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同化宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										547.6	547.6	547.6	0	547.6	

11

合計(A+B) 543.6

群馬中央地区(群馬県高崎市) 現況図



ぐんまちゅうおう
たかさき
群馬中央地区(群馬県高崎市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	目標1: 安全が目で見えて、それを実感できるまちづくりを目指す。	代表的な指標	①安全安心を実感する歩行環境の充実 (%)	38.0 (H29年度) → 50.0 (R4年度)
	目標2: 洪水や浸水のないまちづくりを目指す。		②治水対策、自然災害対策に対する不適度の低減 (%)	37.0 (H29年度) → 30.0 (R4年度)
	目標3: 住みたい、住み続けたいと思うまちづくりを目指す。		③計画期間内の平均転入戸数(新築)の維持 (戸)	10.0 (H28年度) → 10.0 (R4年度)
			()	(年度) → (年度)



凡例
■ 基幹事業
○ 関連事業
● 都市機能誘導区域
● 居住誘導区域
■ 市街化区域
■ 市街化調整区域